

令和6年度第2回県央地域医療連絡協議会及び
令和6年度第1回県央地域医療構想調整会議 議事概要

1 開催日時

令和7年3月21日（金）19:00～20:00

2 会場

燕三条地場産業振興センター リサーチコア7階 マルチメディアホール

3 議 題

■ 県央地域医療連絡協議会

- ・ 第8次新潟県地域保健医療計画に係るロジックモデルの作成方針について（協議事項）

■ 県央地域医療構想調整会議

- (1) 外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関について（協議事項）
- (2) 外来医療計画に係る共同利用計画について（報告事項）
- (3) 県央地域医療再編の進捗状況について（報告事項）
- (4) 新潟県立吉田病院 新病院計画について（報告事項）

4 概 要

■ 県央地域医療連絡協議会

- ・ 第8次新潟県地域保健医療計画に係るロジックモデルの作成方針について、資料1に基づき事務局より説明し、異議なく了承を得た。

■ 県央地域医療構想調整会議

- (1) 外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関について、済生会新潟県央基幹病院が紹介受診重点医療機関となり、富永草野病院が紹介受診重点医療機関にならないことについて、異議なく了承を得られ、4月1日から、済生会新潟県央基幹病院が紹介受診重点医療機関になることについて、県から公表されることとなった。

5 主な発言（要旨）

■ 県央地域医療構想調整会議

(3) 県央地域医療再編の進捗状況について

医療機関からは以下のような発言があった。

- 年齢が高く生活支援が必要な人が多い状況。今後を見据えた時に、生活支援を含めた介護や福祉との連携が必要だと思っているので、自治体、関係の方々との連携を深めていきたい。
- 機能転換したことを患者から理解していただけていない部分があるが、地域密着型病院として基幹病院と相互連携して診療を行っていきたい。
- この地域で医療資源、医師の共有というか、手伝いができるような先生がいらしたらお互い活用しながら、例えば脳卒中、脳神経内科、内科の先生などがいていただければ、より我々の機能も上がると思うので、それも含めてこういった場で議論いただければ更に地域が一つとして機能していくと思うので、いろいろ考えていきたい。
- 地域で一つの医療というのであれば、県央でまとめてコメディカルをよびこむというのを力強くやってもらいたい。
- 医療再編により夜間、休日に救急を受け入れなくなったが、まだこれを理解していただけるには少し時間がかかるのではないかとと思っている。
引き続き住民に理解をいただきながら対応していきたい。

(4) 新潟県立吉田病院 新病院について

<指定管理者に対する質疑>

- かつて病院以外にリハビリや介護のフォローを兼ねた治療院的な施設を併設するというアイデアを伺っていて、そういう併設したものがあれば、県立吉田病院が他の病院と違った特色をもって更にうまくいくのではないかと期待をしているところだが、建設費の値上がり等で本当に実現するのか、我々としてはしっかり実現していただきたいと思うがそれについてはいかがか。

⇒ 公募の時に、病院の機能を更に強化するために病院からの転院先として介護医療院の併設ということを考えていた。

新病院の建設が約1年遅延し移転が9年秋頃なので、そこから解体して建設となると、順調にいても開設できるのは大分先になる。その段階の建築コストを見極めながら、最終判断を下していきたい。